

ティファール 電気ケトル

Glass Lock Control

グラス ロック コントロール 1.5L

KO815*



はじめに

安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
各部の名称と機能	6

その他

お手入れの方法	14
故障かなと思ったら	16
製品仕様	17

使い方

使い方	8
使い終わったら	13

- お買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 読み終わったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

キリリ線

Ref:3206003316-02

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 4F

お客様
相談センター**0570-077772**

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文
センター**0570-086072**

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

修理センター

※ 商品により部品としての取り扱いのない場合がございます。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 本製品は家庭用です。業務用または一般家庭以外での使用や取扱説明書の指示に反する使用について、弊社は一切の製造責任と保証の責任を負いかねます。

絵表示の例



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が表記されています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が表記されています。



警告 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

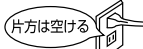
電源・電源コード



指示

定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用する

他の機器と併用すると、発熱による火災や故障の原因になります。



禁止

海外など、異なる電源電圧の地域で使用しない

当製品は日本国内専用です。

ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しない。電源コードを束ねたまま使用しない
発火、故障の原因になります。



指示

電源プラグや電源コードに損傷があるとき、または使用中に異常に熱くなるときは、ただちに使用を中止する

そのまま使うと、ショートや発火するおそれがあります。弊社修理センターまでご相談ください。

異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く

そのまま使うと、ショートや発火するおそれがあります。弊社修理センターまでご相談ください。



禁止

電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない
そのまま使うと、感電、ショートや発火するおそれがあります。



指示

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。
● 傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。



電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
● 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。



電源プラグや電源コードを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

お取り扱い



分解禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造しない
発火したり、異常作動をしてけがをするおそれがあります。



禁止

ふたを開けたまま湯を沸かさない
湯沸かし中は、確実にふたを閉めてください。湯が流れ出てやけどをするおそれがあります。

ふたを持って本体を移動させない
落下してけがの原因になります。

注ぎ口をふきなどでふさがない
湯がふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。

本体を抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったりしない
湯が流れ出てやけどをするおそれがあります。

水につけない
感電・ショート・火災、故障の原因になります。

本体底部や電源プレートに水をかけたり、水に濡らしたりしない。絶対に丸洗いはしない
ショートしたり、感電するおそれがあります。

ふたを勢いよく閉めない
湯がふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。

ケトルを転倒させない
湯が流れ出て、やけどをするおそれがあります。

子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わない
やけど・感電・けがをするおそれがあります。

MAX(満水)目盛り以上の水を入れない

水を入れすぎた場合、熱湯が飛び出すことがあり、やけど・感電・けがをするおそれがあります。



禁止

電源プレート中央の接続部(金属部)や本体接続部、電源プラグをなめさせない
感電やけがのおそれがあります。特に乳幼児には触らせないでください。

氷を入れるなどして保冷用に使わない
内蔵の電気部品に水や露がつき、感電・故障の原因になるおそれがあります。

直火(ガス台などや電気ヒーター)、電磁調理器(IH)、電子レンジなどに使わない
火災・熱変色・変形・故障の原因になります。

安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)には、単独で使用させない。また、製品で子供が遊ばないように注意する
やけど・感電・けがをするおそれがあります。

本製品は湯沸かし専用であるため、用途にそぐわないチョコレートや牛乳、麺や卵などの食材を調理する目的では使用しない
ふきこぼれたり、食材が飛び出すことがあり、やけど・感電・けがをするおそれがあります。

ふたを外すときに出る蒸気に触れない
熱い蒸気でやけどをするおそれがあります。

水以外の液体を入れたり、沸かしたりしない
泡立ちが起こり、内容物がふき出して、やけどの恐れがあります。



指示

注ぐ際にはしっかりとふたをする
内容物がふき出して、やけどのおそれがあります。



注意 誤った取り扱いをしたときに、人が損害を負う可能性および物的損害が想定される内容です。

電源・電源コード



コンセントからはずす

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



指示

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電したりショートしたりして、発火するおそれがあります。

安全上のご注意（続き）

お取り扱い



指示

コンセントに電源プラグを差し込んでいるときは、電源コードを引っかけないように気をつける

本体が落下し、やけどやけがをするおそれがあります。

本製品はガラス製品のため、取り扱いに注意する

● 冷えた状態の本体に急に熱いものを入れたり、熱い状態の本体に急に冷たいものを入れたりしないでください。

● 強い衝撃を与えたり、落としたりしない。

ガラスが割れて、ケガの原因になります。



禁止

湯沸かし中または湯沸かし直後は、ふたを開けたり、注ぎ口に触れたり、蒸気に手を近づけたりしない

注ぎ口などから熱い蒸気が出て、やけどをするおそれがあります。

湯沸かし中は、移動させない

湯が流れ出たり、蒸気でやけどをするおそれがあります。

牛乳を沸かす、紅茶を煮出す、スープを作るなど、湯沸かし以外の目的で使用しない

ふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。さらに、故障や汚れの原因にもなります。

使用中および使用直後に取っ手以外の本体および注ぎ口には触れない

やけどをするおそれがあります。

ガラスに傷やひび、欠けがある場合は使用しない

けがの原因となります。



禁止

専用の電源プレート以外は使わない。また、付属の電源プレートを他の機器に転用しない

発火、故障の原因になります。

ストーブやガスコンロなど熱源のそばや直射日光が当たる場所では使わない

本体のガラスやプラスチック部分が熱で損傷し、けがややけどをするおそれがあります。

ガラス窓の近くで使用しない

ヒビが入ったり割れることがあります。

不安定な場所や、熱に弱い敷物の上、可燃物の近く（カーテンの近くなど）では使わない

火災の原因になったり、けがややけどをするおそれがあります。

瓶やカップなどを本体の中に入れない

ふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。さらに、故障や汚れの原因にもなります。

電源プレート中央の接続部（金属部）にピンを差し込んだり、ゴミを付着させない

感電、ショート、発火の原因になります。

壁や家具の近くで使わない

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因になります。

湯沸かし中は、お湯を注がない

湯が飛び散りやけどのおそれがあります。

使用上のご注意

- 本体に水が入っていないときは、スイッチをオンにしない
故障の原因になります。
- ふたを開けた状態のまま、湯を沸かさない
本製品は、ふたをした状態で湯を沸かす仕様になっています。
- 水質改善材・浄化材（備長炭）など、水以外のものを本体の中に入れてください
故障の原因になります。
- 本製品は一般家庭用です
- 本製品は必ず屋内で使用してください
- 直射日光が当たる場所への本製品の設置、ご使用はお控えください
故障の原因になります。
- 長期間使用しないときは、十分に乾燥させたあと、においがつかないようにポリ袋などに入れて保管してください
- 本製品は湯沸かし専用にお使いください

お知らせ 工場出荷前に水を入れて検品をしております。まれに、本体内に白い跡が残っている場合がございますが、検品時の水の跡ですので、2～3回すすいだ後、安心してお使いいただけます。



注意

ジャーポットと違い、湯沸かし中や沸とう後は本体が熱くなっていますので、ご注意ください。

各部の名称と機能

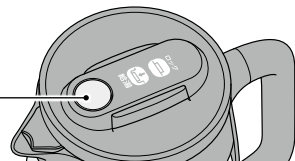
給湯ロック機能

※ 給湯ロックはふたの開閉をロックするものではありません。

ロック状態

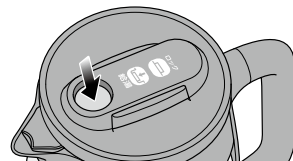
給湯ロックボタンが上がっているときは、注ぎ口からお湯が出ません。お湯を注ぐとき以外はロックの状態にしてください。

給湯ロック
ボタン



ロック解除

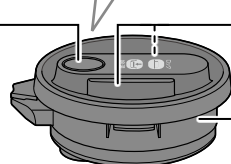
給湯ロックボタンを押した状態にすると、ロックが解除され、注ぎ口からお湯を出すことができます。



注意

ケトル本体を90度以上傾けた場合、ロック状態でもお湯が注ぎ口から漏れ出すことがありますので、ご注意ください。

給湯ロック
ボタン



ふた開閉ボタン

ふた

注ぎ口

取っ手

本体

T-fal

容量目盛

1.5L
MAX ← MAX (最大)ライン

1.2L

1L

0.8L

0.5L
MIN ← MIN (最少)ライン

電源プレート

電源コード

操作パネル



電源プラグ

- 本製品は、本体と電源プレートのセパレート式になっています。
- 電源スイッチを入れないと作動しません。
- 空だきをすると、本体内の安全装置が作動して、ヒーター部への通電が自動的に切れます。

操作パネル

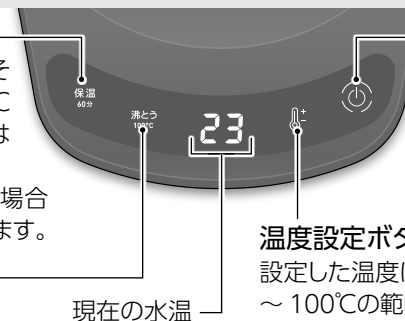
保温ボタン

設定した温度に加熱し、その後保温します。(100℃に温度設定した場合は95℃で保温されます) 温度を設定していない場合は、60℃に加熱・保温します。

沸とうボタン

水を沸とうさせます。

現在の水温



電源ボタン

電源をオン/オフします。電源オン・オフ時は以下の音が鳴ります。
オン時：ピッ
オフ時：ピーピー

温度設定ボタン

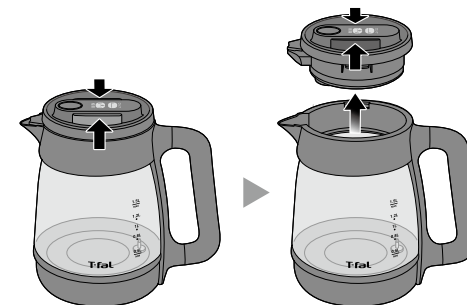
設定した温度に加熱します。温度は、40～100℃の範囲で9段階に設定可能です。

※ 操作パネルは何も押さない状態で約30分経つと、スタンバイモードになり、電源ボタン以外の表示がオフになります。スタンバイモード中に再度電源ボタンを押すと、すべてのボタンの表示がオンになります。

ふたの開け方、閉め方

開け方

ふた開閉ボタンを押しながら、ふたを上を持ち上げます。



閉め方

ふたをケトル本体に戻し、上から押しこみます。



注意

ふたを片側ずつ、カチッと音がするまで上から確実に押しこみます。ふたが完全に取り付けられていることを必ず確認してください。



お願い

- 初めてケトルを使用する際は、念のため最初の2～3回はすすいでからご使用ください。
- 電源プレートの上に本体を載せた状態のまま水を注ぐことはおやめください。
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水を沸かしたときは、水に含まれるミネラル成分がケトル内部に付着しやすくなります。
- 水を入れすぎた場合、熱湯が飛び出すことがありますので、MAX（満水）ライン以上は水を入れないでください。また、水を入れないまま、空だきをしないでください。
故障の原因になります。
- 水以外のものは沸かさないでください。ふきこぼれ、故障の原因になります。
- ふたがきちんと閉まっているのを確認してください。
ふたがきちんと閉まっていないとお湯が沸いてもスイッチが切れない場合があります。

1 本体に水を入れます。

- ① ふたを本体から外します。
- ② 本体に水を入れます。
- ③ ふたを本体に取り付けます。

お知らせ 水量目盛りが一番下（0.5L）以上の水量で
ご使用ください。



2 ケトル本体を電源プレートに正しくセットします。

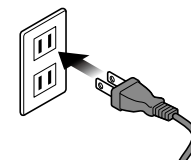
- 電源プレートは清潔で平らなところに置いてください。
- 電源プレートにセットする際は、ケトル本体が安定していることを確認してから手を離してください。



3 電源プレートのプラグをコンセントに差し込みます。

電源プレートからピーと音がします。

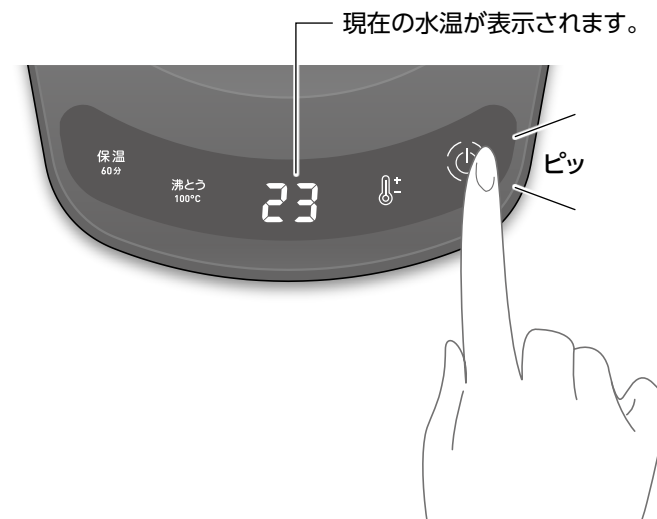
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
発火、故障の原因になります。



⚠ 注意

定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用してください。
他の機器と併用すると、発熱による火災、故障の原因になります。

4 給湯ロックボタンが「ロック」の状態になっていることを確認し、電源ボタンを押して電源を入れる。



⚠ 注意

お湯を沸かしている最中は、絶対にふたを開けたり、本体に触れたり、蒸気に手を近づけたりしないでください。
やけどをすることがあります。

次ページへ続く ▶

使い方 (続き)

5 操作ボタンを押して加熱を 始めます。



注意
加熱中は絶対にふたを開けたり、蒸気に手を近づけたりしないでください。やけどをすることがあります。

温度設定モード — お好みの温度に加熱する

① 温度設定ボタンを押して、温度を設定します。

ボタンを押すごとに100℃・95℃・90℃・85℃・80℃・70℃・60℃・50℃・40℃の温度が選択できます。

※ 一度沸とうさせて温度が下がるのではなく、直接設定温度になります。

② 温度が確定するまで3秒間待ちます。

3秒間たつと温度表示が点滅から点灯に変わり、加熱が開始されます。

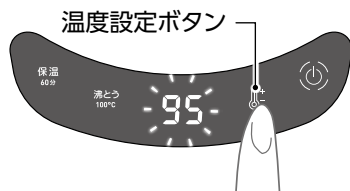
現在の水温より低い温度に設定したときは、加熱はおこなわれません。

- 加熱中も温度設定ボタンを押して温度設定を変更することができます。

加熱を中止するときは、
電源ボタンを押します。

お湯の温度が設定温度に到達する直前に、ピッ、ピッ、ピッと音が3回鳴り、温度到達を予告します。到達するとピーと音が1回鳴り、加熱を終了します。

- すべてのボタンが点灯します。
- 加熱時間は、水量・水温・室温などによって多少異なります。
- 温度は最大で±3℃の誤差が出る場合があります。



加熱中は、温度設定ボタンが点滅します。

沸とうモード — 水を沸とうさせる

沸とうボタンを押すと、すぐに加熱が始まります。

加熱を中止するときは、
電源ボタンを押すか、沸とうボタンを再度押します。

お湯の温度が設定温度に到達する直前に、ピッ、ピッ、ピッと音が3回鳴り、温度到達を予告します。到達するとピーと音が1回鳴り、加熱を終了します。

- すべてのボタンが点灯します。
- 加熱時間は、水量・水温・室温などによって多少異なります。
- 温度は最大で±3℃の誤差が出る場合があります。



加熱中は、沸とうボタンが点滅します。

保温モード — 設定温度に加熱した後、保温する

① 温度設定ボタンを押して、保温したい温度を選択します。

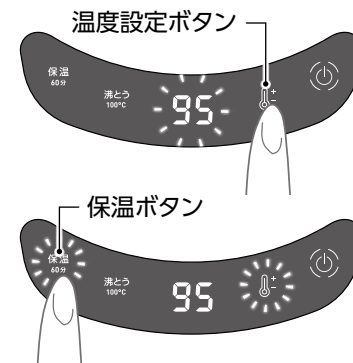
- 保温の最高温度は95℃です。100℃に温度設定した場合は、95℃で保温されます。
- 現在の水温より低い温度に設定した場合は、加熱されません。
- あらかじめ温度を設定している場合は、再度設定する必要はありません。
- 温度は最大で±3℃の誤差が出る場合があります。

② 保温ボタンを押します。

設定した温度まで加熱した後、その温度で保温します。100℃に温度設定した場合は、95℃で保温されます。

お湯の温度が設定温度に到達する直前に、ピッ、ピッ、ピッと音が3回鳴り、温度到達を予告します。到達するとピーと音が1回鳴り、加熱を終了します。

- 保温モード中は保温ボタンが点滅します。
- 保温時間は60分間です。
- 温度を設定していない状態で保温ボタンを押すと、60℃に加熱・保温します。
- 温度は最大で±3℃の誤差が出る場合があります。
- 保温中にケトルを電源プレートから外しても、再度電源プレートにセットし、10秒以内に保温ボタンを押すと、保温が再開されます。



加熱中は、温度設定ボタン・保温ボタンが点滅します。

加熱、保温を中止するときは、

電源ボタンを押すか、保温ボタンを再度押します。

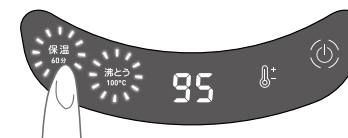
ヒント 保温は加熱中でも設定することができます。

温度設定モードで加熱中



保温ボタンを押すと、温度設定ボタンが点滅したまま、保温ボタンが点滅します。設定温度に加熱した後、その温度で保温します。

沸とうモードで加熱中

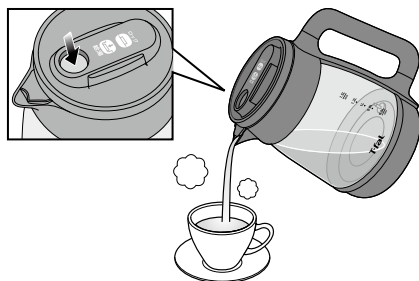


保温ボタンを押すと、沸とうボタンが点滅したまま、保温ボタンが点滅します。沸とう後は、95℃で保温します。

使い方 (続き)

6 沸騰状態がおさまってから、給湯ロックボタンを押して、お湯を注ぎます。

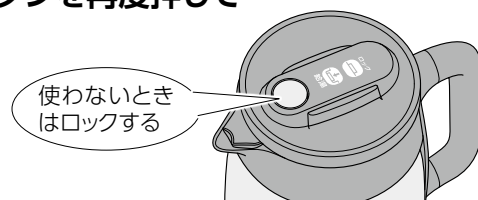
- 本体を電源プレートからはずしてお湯を注いでください。
- 本体を電源プレートに戻す際は、本体が安定していることを確認してから手を離してください。



⚠ 注意

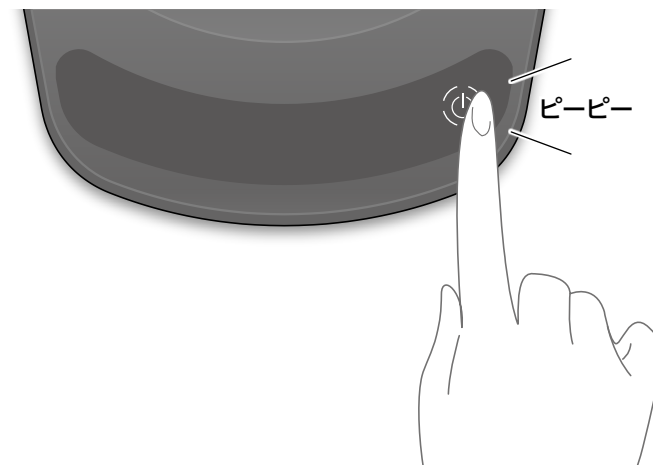
- 湯沸かし中や湯沸かし直後は、絶対にふたを開けたり、ふた周辺や注ぎ口から出る蒸気に手を近づけたりしないでください。やけどをすることがあります。
- ふたを開けたときに、ふた内部から熱い湯滴が落ちることがあるので注意してください。やけどをするおそれがあります。
- 取っ手以外の本体および注ぎ口は非常に熱くなりますので、触れないでください。
- お湯を注ぐ際、急に本体を傾けないでください。特に満水時は、注ぎ口やふたから湯が飛び出すおそれがあります。
- 湯沸かし中・沸騰中はお湯を注がないでください。

7 注ぎ終わったら、給湯ロックボタンを再度押して「ロック」状態にします。



使い終わったら

電源をオフにして、残ったお湯を捨てます。



- ご使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ご使用後は、水あかや汚れの付着をおさえるため、お湯を残さず、本体内部を空にしてください。



- お湯がふたの中に残っている場合があります。ふたを外す際には、ふたを取っ手側に傾けながらゆっくりと外してください。

お知らせ ご使用後は、個人差により取っ手が熱く感じられる場合があります。



お手入れの方法

長期間清潔にご使用いただくためには、定期的にお手入れをしてください。



注意

- 必ず電源プラグを抜いて、本体が冷めるのを待ってからお手入れをしてください。
- 本体と電源プレートを水に浸けることは絶対におやめください。感電や故障の原因になります。

お願い

磨き粉や金属タワシ、漂白剤などを使用しないでください。傷がついたり変色したりするおそれがあります。

本体外側のお手入れ

本体が冷めるのを待ち、やわらかい布で拭いてください。
がんな汚れには、ぬらした布に中性洗剤を含ませて擦り、拭き取ってください。



注意

本体の丸洗いは絶対にしないでください。



ふた

水ですすいだ後、乾いたふきんなどでしっかりと拭き、乾かしてください。

本体内側のお手入れ

内側に汚れが目立ってきたら、定期的にお手入れをしてください。

- 本体内側の汚れ（白い浮遊物、虹色などの変色、白いはん点、赤さび状のはん点など）は、水に本来含まれるミネラル成分の作用によるものです。

衛生上問題はありませんが、ミネラル成分がたまると、湯沸かし中の音が大きくなる原因になったり、付着したミネラル成分がはがれて本体内のお湯に混じることがあります。

ミネラルウォーターやアルカリイオン水（ミネラル成分を多く含む水）を沸かしたときは、こまめにお手入れしてください。

通常のお手入れ

水でよくすすいだ後、乾いたふきんなどでしっかりと拭いてください。

お願い

熱や蒸気に触れる樹脂部品は、ご使用にともなって傷んでくる場合があります。食品衛生上安全な材料を使用していますが、変色したりザラザラしてきた場合は交換してください（有償となります）。



汚れが落ちにくい場合クエン酸を使って

- 1 水をMAX(満水)まで入れ、その中にクエン酸(15g程度)を入れて、かき混ぜます。
- 2 ふたを閉めて沸とうさせ、その後、約1時間放置します。
- 3 お湯を捨て、水で十分にすすぎます。
- 4 クエン酸のにおいが気になるようでしたら、水だけを入れて、再度通常どおり沸とうさせ、お湯を捨ててください。

お願い

内側のステンレス部分をお手入れする際は、柔らかいスポンジをお使いください。また、ステンレス部分は強くこすらないでください。表面に傷がつくおそれがあります。

故障かなと思ったら

このようなとき	原因	対処方法
作動しない、 または沸とう前に 止まってしまう	コンセントにプラグが入って いない。	電源プレートのプラグを確実にコ ンセントに差しこんでください。
	空だきしたため、安全装置 が作動して、ヒーター部へ の通電が自動的に切れた。	本体を電源プレートからはずし、 熱を冷ましてから水を入れてくだ さい。
水が漏れる・ふき出す	MAX（満水）目盛より多 く水が入っている。	水の量をMAX（満水）目盛以下 に減らしてください。
加熱されない	設定温度が現在の水温よ り低い。	設定温度を水温より高くしてくだ さい。
	水温を検知できない。	修理センターへご連絡ください。

■ 下記のような点滅表示になったときは修理センターへご連絡ください。

点滅表示	状態
E1	水温を検知できない。
E3	1分間、加熱しても温度が上がらない。

製品仕様

ティファール 電気ケトル Glass Lock Control 1.5L（グラス ロック コントロール 1.5L）		
定格電圧	100V ～	
周波数	50/60Hz	
定格消費電力	1250W	
最大容量	1.5L	
質量（全体）	約1590g	
サイズ（全体）	幅	約23cm
	奥行き	約17cm
	高さ	約27cm
電源コードの長さ	約1.35m	
温度ヒューズ	192℃	

- ※仕様・デザインは変更になることがあります。ご了承ください。
- ※本製品は日本国内のみで使用できます。
- ※本製品は中国製です。
- ※標高の高い場所、厳寒地などでは所定の性能が発揮できない場合があります。



愛情点検

●長年ご使用の電気ケトルの点検を！

こんな症状はありませんか？

- コード、電源プラグ、電源プレートに損傷が見られる。
- ご使用中にコードや電源プラグが異常に熱くなる。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- いつもより本体が異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。
- 本体から水が漏れる。
- 損傷が見られる。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中止

このような症状が見られるときは、故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずグループセブジャパン修理センターに点検・修理をご相談ください。

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 4F

お客様
相談センター



0570-077772
ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文
センター



0570-086072
ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

修理センター

※ 商品により部品としての取り扱いのないものがございます。